

第五十七回国会 内閣 委員会

議 錄 第二号

(五六)

昭和四十二年十二月十九日(火曜日) 午前十時四十九分開議

出席委員

委員長

三池

信君

理事

伊能繁次郎君

幸男君

理事

浦野

喜男君

理事

八田

貞義君

理事

山内

広君

理事

桂木

鉄夫君

理事

塙谷

一夫君

理事

塙原

俊郎君

理事

藤尾

正行君

理事

山口

シヅエ君

理事

木原

実君

理事

橋崎

弥之助君

理事

吉田

之久君

理事

鈴切

康雄君

出席國務大臣

國務

大臣

田中

龍夫君

出席政府委員

人事院

總裁

佐藤

達夫君

人事院

事務總局

給與局長

尾崎

朝夷君

総理府

人事局長

栗山

廉平君

防衛政務

次官

三原

朝雄君

委員外の出席者

専門員

茨木

純一君

十二月十九日

委員赤城宗徳君、内海英男君、關谷勝利君及び

福永健司君辞任につき、その補欠として山口シ

ヅエ君、菅波茂君、佐々木秀世君及び塙原俊郎

君が議長の指名で委員に選任された。

同日

委員佐々木秀世君、菅波茂君、塙原俊郎君及び

山口シヅエ君辞任につき、その補欠として關谷

勝利君、内海英男君、福永健司君及び赤城宗徳

君が議長の指名で委員に選任された。

十二月十八日

退職公務員の恩給、共済年金等に関する請願外

四件(有田喜一君紹介)(第四五九号)

同外三件(浦野幸男君紹介)(第四六〇号)

同外十四件(小笠公韶君紹介)(第四六一号)

同(大石武一君紹介)(第四六二号)

同(上林山榮吉君紹介)(第四六三号)

同(鯨岡兵輔君紹介)(第四六四号)

同外六件(渡海元三郎君紹介)(第四六五号)

同(野原正勝君紹介)(第四六六号)

同(福家俊一君紹介)(第四六七号)

同(松澤難藏君紹介)(第四六八号)

同外三件(曰井莊一君紹介)(第五一八号)

同(小川半次君紹介)(第五一九号)

同(細田吉藏君紹介)(第五二〇号)

同外一件(早稻田柳右工門君紹介)(第四七〇号)

同外三件(曰井莊一君紹介)(第五二一號)

同外二件(毛利松平君紹介)(第五二二號)

同外二件(森下國雄君紹介)(第五二三號)

同外十六件(山崎巖君紹介)(第四八六号)

同外一件(愛知揆一君紹介)(第五二五号)

同外二件(倉成正君紹介)(第五二六号)

同(細田吉藏君紹介)(第五二七号)

同(森田重次郎君紹介)(第五二八号)

同外一件(愛知揆一君紹介)(第六七九号)

同外六件(塙田徹君紹介)(第六八〇号)

同(坂村吉正君紹介)(第六七〇号)

同(塙川正十郎君紹介)(第六七一號)

同(中馬辰猪君紹介)(第六七二号)

同(田村元君紹介)(第六七三号)

同(塙川恭平君紹介)(第六七六号)

同(南條徳男君紹介)(第六七五号)

同(中馬辰猪君紹介)(第六七六号)

同外五件(鍛治良作君紹介)(第六八七号)

同(増田甲七君紹介)(第六七七号)

同(正力松太郎君紹介)(第六八八号)

恩給の不均衡是正に關する請願外二件(荒木萬

壽夫君紹介)(第四七二号)

同外六件(大野市郎君紹介)(第四七三号)

同(金子岩三君紹介)(第四七四号)

同(北澤直吉君紹介)(第四七五号)

同(久保田謙磨君紹介)(第四七六号)

同外一件(草野一郎平君紹介)(第四七七号)

同外九件(二階堂進君紹介)(第四七八号)

同外一件(西岡武夫君紹介)(第四七九号)

同(野原正勝君紹介)(第四八〇号)

同(谷垣專一君紹介)(第六九六号)

同(中馬辰猪君紹介)(第六九七号)

同(内藤隆君紹介)(第六九八号)

同外五件(中山榮一君紹介)(第六九九号)

同外一件(野田武夫君紹介)(第七〇〇号)

同外二件(羽田武嗣郎君紹介)(第七〇一號)

同外三十三件(橋本龍太郎君紹介)(第七〇二号)

同外二十件(福水健司君紹介)(第七〇三号)

同外一件(堀川恭平君紹介)(第七〇四号)

同外一件(増田申子七君紹介)(第七〇五号)

同外十二件(三ツ林弥太郎君紹介)(第七〇六号)

同(武藤嘉文君紹介)(第七〇七号)

同外三件(山手滿男君紹介)(第七〇八号)

同外一件(増田申子七君紹介)(第七〇九号)

同(武藤嘉文君紹介)(第七〇一號)

同外二件(山手滿男君紹介)(第七〇二號)

同外一件(進藤一馬君紹介)(第五二五号)

同外三件(塙田徹君紹介)(第五二六号)

同(細田吉藏君紹介)(第五二七号)

同外一件(進藤一馬君紹介)(第五二八号)

同外一件(愛知揆一君紹介)(第六七九号)

同外六件(荒松清十郎君紹介)(第六八〇号)

同(池田清志君紹介)(第六八一號)

同外十件(内田常雄君紹介)(第六八二号)

同外二件(大竹太郎君紹介)(第六八三号)

同(小沢佐重喜君紹介)(第六八四号)

元滿鉄職員であつた公務員等の恩給等通算に関する請願外二件(毛利松平君紹介)(第四八九号)旧軍人恩給外地抑留期間の加算に関する請願(川上貫一君紹介)(第五二九号)

(有田喜一君紹介)(第五三〇号)

國家公務員の給与引上げ等に関する請願(池田清志君紹介)(第四九〇号)

旧軍人恩給外地抑留期間の加算に関する請願(川上貫一君紹介)(第五二九号)

(田代文久君紹介)(第五三一號)

同(谷口善太郎君紹介)(第五三二號)

同(浜田光人君紹介)(第五三二号)

同(林百郎君紹介)(第五三三号)

同外一件(松本善明君紹介)(第五三四号)

同外一件(川上貫一君紹介)(第七一一号)

同外一件(田代文久君紹介)(第七一二号)

同外一件(谷口善太郎君紹介)(第七一三号)

同外一件(林百郎君紹介)(第七一四号)

同外二件(松本善明君紹介)(第七一五号)

高校教職員給与体系の改正に関する請願外三件

(森下國雄君紹介)(第五三五号)

恩給 格差是正に関する請願(塙川正十郎君紹介)(第七〇九号)

恩給、共済年金等に関する請願(古井喜實君紹介)(第七一〇号)

国家公務員の賃金引上げ等に関する請願(松本善明君紹介)(第七一六号)

は本委員会に付託された。

本日の会議に付した案件

一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律案(内閣提出第一号)特別職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律案(内閣提出第二号)防衛庁職員給与法等の一部を改正する法律案(内閣提出第三号)

○三池委員長 これより会議を開きます。内閣提出にかかる一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改定する法律案 特別職の職員の給与に関する法律等の一部を改定する法律案及び防衛庁職員給与法等の一部を改定する法律案 上の各案を一括して議題といたします。ただいま委員長の手元に山内広君外二名より、一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改定する法律案に対する修正案が提出されております。

一般職の職員の給与に関する法律等の

一部を改定する法律案に対する修正案
一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改定する法律案の一部を改定する法律(昭和三十二年法律第百五十四号)附則第二十二項の改定規定及び同法附則に加えられる附則第二十項の改定規定中「昭和

四十二年八月一日」を「昭和四十二年五月一日」に改める。

附則第二項中「第十九条の三(同条第一項に規定する基準日が十二月一日である期末手当に関する部分を除く。)」を削り、「十二月一日である勤勉手当」を「六月一日又は十二月一日である勤勉手当」に、「昭和四十二年八月一日」を「昭和四十二年五月一日」に改める。

附則第三項中「昭和四十二年八月一日」を「昭和四十二年五月一日」に改める。

本修正の結果必要とする経費は、約八十九億円の見込みである。

○三池委員長 提出者より趣旨の説明を聴取いたしました。山内広君。

○山内委員 ただいま議題となりました一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改定する法律案に対する修正案につきまして、提出者を代表して、その趣旨を御説明申し上げます。本修正案は、日本社会党、民主社会党、公明党の三党共同提案にかかるものであります。案文はお手元に配付しておりますので、朗読を省略し、その要旨を申し上げますと、原案では、その実施期日を本年八月一日としているのでありますが、これを五月一日に改めようとするものであります。

その趣旨を簡単に申し上げますと、原案は、そ

の実施時期を人事院勧告が本年五月一日からとしているにもかかわらず、本年もまたその勧告を無視して八月一日からとしているのであります。

当委員会等の質疑でも明らかにされましたよう

に、公務員の団体交渉権、争議権の代償として設けられた人事院勧告制度本来の趣旨からして、その実施期日は当然勧告どおり五月一日とすべきものであります。

(拍手)

○三池委員長 これにて修正案の趣旨の説明は終りました。

この際、国会法第五十七条の三の規定により、内閣の意見を求めます。田中國務大臣。

○田中國務大臣 一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改定する法律案に対する修正につきまして、政府といたしましては、本年度の財政事情にかんがみまして賛成いたしがたいことを

つきました。政府といたしましては、本年度の財政事情にかんがみまして賛成いたしがたいことを

に、公務員の団体交渉権、争議権の基本的権利を自由に行使し、労働条件が決定せらるべきであったのあります。したがって、人事院勧告はその公務員の団体交渉権、争議権を代弁するものであり、その完全実施は、三公社の場合における仲裁裁定と同様尊重され、当然に実行されなければなりません。にもかかわらず、勧告実施以来十九回、政府はただの回も完全実施を行なわなかつたことは、みずから責任と義務を回避しているものと断定せざるを得ません。

このような基本的な立場から、単に財政事情を理由に勧告を踏みにじることは許されないのであります。

次に、人事院勧告は、内閣のみならず、国会においてはいたずらに内閣の決定に追従することなく、独自の調査と審議に基づきその判断を下すべきであります。

去る十月二十三日、当内閣委員会におきまして完全実施すべきであるという決議を行ない、その態度を明らかにしておるのでございまして、国民の信託にこたえ、国会の権威のためにも、私は勧告を完全に実施すべきであると考えまして、政府に反対をし、修正案に賛成し、討論を終わります。(拍手)

○三池委員長 受田新吉君。

○受田委員 民社党を代表して、ただいま議題になつております給与関係三法案に対する修正案

それぞれの立場におきまして、修正案の提案者の一人といしまして、この修正案を通さざる限り関係三法案に賛成することができません。

その趣旨は、しばしば申し上げているとおり、人事院という、政府機関ではありますても独立性を強固に持つてゐる機関の、公務員の待遇に關する強烈なる要望をうのみにできないような政府であるならば、公務員は何によつてその待遇を保障できるかという基本的な問題をわれわれは考えざるを得ません。

残念なことに、この給与法の改正案は、昨年よりすでに御承知のとおり、人事院は昭和二十三年、占領軍の労働政策の変更に伴い、国家公務員法の制定によって設立されたもので、公務員は、本来ならば憲法第二十八条に基きまして、その

は一步前進と称して八月より実施する案になつておりますけれども、しかし、わずかに一ヶ月を前進と称して、ひそかに政府自身御満足の意思表示をされるような形でこれが通過されるとするならば、先ほど申し上げました基本的な原則が打破されることになるのでございまして、あくまでも五月実施という実施時期については厳重にこれを守るべきである。

また、一般職のみならず、防衛庁職員及び特別職の職員の給与改正案におきましても、同様の実施期の問題において私たちは八月ということは納得できません。

私はもう一つ、この一般職の職員の給与改善につきましては、しばしば指摘してあるような生活の実態を十分把握する意味におきまして、住宅対策がより強大に実施されなければならぬと政府に強く要望をしてまいりました。多少の手心を加え住宅政策をお示しになりましたけれども、かつて人事院の報告書の中にも要望が書いてあったように、少なくとも生活の実態は衣食住を公務員としての最低を守るという立場で御措置あるべきであつたと思います。

あわせて、防衛庁職員の給与法改正につきましては、これまた参考官等の特別の俸給表が用いられて、一般職と著しく形を変えた提案が引き続きされておること、こういう防衛庁職員の特異性を特に指摘されておるのでありますけれども、国民に愛される自衛隊をつくろうという立場から、当然考慮すべき問題が解決されていない。

さらにも、特別職の職員の給与法の中には著しく高額の思い切った待遇改善がされている部門を各所に見受けます。人間としての高い尊重観念から、上下の格差ができるだけ圧縮して、そしてその間に相互の融和をはかり、公務員生活を營ましめるために、上をことさらに高く引き上げ、下を押えるといふ方が依然として特別職にもこれを見ることができる。給与法三選を通じてこの点はひどく認めざるを得ないのでござりまするが、こういうところに十分検討をされ

るべきものがなお法案としては出でていない。あくまでも政府自身において人事院勧告を完全実施す

るというたてまえ、同時に上下の格差の是正、及び公務員としての衣食住全般にわたる潤いある生活の保障等、十分考慮さるべきものが欠けておる点において遺憾しことに存じます。

いま一つ、法案の出し方として、この一般職の給与法の改正案に、地方自治法の改正等を全くこそどり的に提案をされているという点がある。これはそれぞれの委員会においてそれぞれの委員会の特殊性を尊重しながら十分これを審議する機会を与えていないといふことになるのであって、かかる附則として雑多な法案提出の形式をとるようなり方は今後十分改めるべきである。この点を特に指摘いたしまして、修正案に賛成及び原案に反対の討論を終わります。（拍手）

○三池委員長 伊藤謙助丸君。
〔賛成者起立〕

○伊藤（惣）委員 私は公明党を代表して、ただいま議題となつております内閣提出三法律案の原案に反対、修正案に賛成の討論を行ないます。

内閣提出の三法律案は、人事院勧告の趣旨を必ずしも尊重しておらず、公務員の生活の実態に照らして、五月一日実施が適当と認められるので、わが党は政府案に反対し、修正案に賛成するものであります。

以上であります。（拍手）

○三池委員長 起立多数。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○三池委員長 伊藤謙助丸君。
〔賛成者起立〕

○伊藤（惣）委員 私は公明党を代表して、ただいま議題となつております内閣提出三法律案の原案に反対、修正案に賛成の討論を行ないます。

内閣提出の三法律案は、人事院勧告の趣旨を必ずしも尊重しておらず、公務員の生活の実態に照らして、五月一日実施が適当と認められるので、わが党は政府案に反対し、修正案に賛成するものであります。

以上であります。（拍手）

○三池委員長 これにて討論は終局いたしました。

○伊藤（惣）委員 本動議に賛成の諸君の起立を求めます。

本案に賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○三池委員長 起立多數。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、特別職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律案について採決いたします。

本案に賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○三池委員長 起立多數。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○三池委員長 伊藤謙助丸君。

〔賛成者起立〕

○三池委員長 起立多數。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○三池委員長 伊藤謙助丸君。

〔賛成者起立〕

○三池委員長 この際、一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律案について、伊能繁次郎君外三名より、附帯決議を付すべしとの動議が提出されております。

趣旨の説明を求めます。伊能繁次郎君。

以上であります。（拍手）

○三池委員長 伊能繁次郎君。この際、一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律案について、伊能繁次郎君外三名より、附帯決議を付すべしとの動議が提出されております。

趣旨の説明を求めます。伊能繁次郎君。

以上であります。（拍手）

と同じようなものでありますするが、しかし、この手當にはいろいろな問題があるというところか

ら、附則に「調整手当についての人事院の措置」という項目を設けまして、本法施行の日から三年以内に、この手当について必要と認められる措置を国会及び内閣に同時に勧告することを中途として、人事院に調査研究させることになつておるの

であります。

そこで、この手当についての支給地域区分であります。現段階では、人事院規則の案の内容もよくわかりませんし、したがつて、個々の地域にわたつてどういうような具体的な尺度でその格づけをするのか審議をするわけにもまいりません。

そこで、この際は、現在の四級地、三級地の暫定手当支給地域区分が今日まで十数年間引き続いて

規則制定の際混乱が生じないよう配慮していただ

てはこの序列を変更しないよう配慮していただ

く、こういう趣旨のものでござります。

そこで、この際は、現在の四級地、三級地の暫定手当支給地域区分が今日まで十数年間引き続いて

規則制定の際混乱が生じないよう配慮していただ

てはこの序列を変更しないよう配慮していただ

く、こういう趣旨のものでござります。

そこで、この際は、現在の四級地、三級地の暫定手当支給地域区分が今日まで十数年間引き続いて

規則制定の際混乱が生じないよう配慮していただ

く、こういう趣旨のものでござります。

よろしく御賛成をお願いいたします。

○三池委員長 採決いたします。

本動議に賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○三池委員長 田中國務大臣。起立総員。よって、本動議は可決いたしました。

○三池委員長 田中國務大臣。この際、田中國務大臣から発言を求められてお

ります。これを許します。田中國務大臣。

○三池委員長 田中國務大臣。ただいまの附帯決議につきまして、暫定手当の地域区分、これをば十分に尊重いたしますするよう、人事院とも連絡をいたしたい、かよう存じておる次第でござります。

○三池委員長 田中國務大臣。この際、田中國務大臣から発言を求められてお

ります。これを許します。田中國務大臣。

○三池委員長 田中國務大臣。ただいまの附帯決議につきまして、暫定手当の地域区分、これをば十分に尊重いたしますするよう、人事院とも連絡をいたしたい、かよう存じておる次第でござります。

○三池委員長 田中國務大臣。この際、田中國務大臣から発言を求められてお

ります。これを許します。田中國務大臣。

そのように決しました。

〔報告書は附録に掲載〕

○三池委員長 次回は、来たる二十二日午前十時
理事会、十時三十分委員会を開会することとし、
本日はこれにて散会いたします。

午前十一時八分散会